

2019年8月期 第1四半期決算説明資料

2019年1月11日

株式会社 USEN-NEXT HOLDINGS
(東証第一部・9418)

代表取締役社長 CEO

宇野 康秀

Copyright © 2019 USEN-NEXT HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved.

USEN-NEXT HOLDINGS



目次

1. 2019年8月期 第1四半期決算について

2. 2019年8月期 業績予想進捗について

3. 2019年8月期 第1四半期 TOPICS

4. USEN-NEXT GROUPの取り組みについて

2019年8月期 連結決算のポイント

1.

各指標とも業績予想に対して概ね計画通りに推移

売上高 397億円 (進捗率: 23.4%)
営業利益 18億円 (進捗率: 23.0%)

2.

**既存安定高収益事業、店舗サービス事業は将来収益創出のための
販管費が増加するものの堅調に売上高が推移**

3.

**高成長事業であるコンテンツ配信事業・エネルギー事業は、
獲得数を拡大しており売上高を大きく積上げる**

2019年8月期連結決算ハイライト

(単位：百万円)	2019年8月期 第1四半期累計
売上高	39,757
営業利益	1,836
営業利益率(%)	4.6%
経常利益	1,545
親会社株主に帰属する当期純利益	674
一株当たり当期純利益 (円)	11.23

- ・ **各指標業績予想に対して順調に推移**
- ・ **前年同時期（9-11月）の業績比較では売上で約15%の増収
営業利益以下の指標については同水準で推移**

※前期、変則決算およびセグメント変更したため前年同期比較については見合わせます。
※決算短信での前年同期業績は換算する月が異なります。

セグメント別業績

2019年8月期 第1四半期累計	売上高 (単位：百万円)	営業利益 (単位：百万円)
■店舗サービス事業	10,985	2,177
■通信事業	9,876	752
■業務用システム事業	4,170	612
■コンテンツ配信事業	7,610	26
■エネルギー事業	6,308	▲ 151
■メディア事業	1,338	64

主力の音楽配信に加え、POSレジ、Wi-Fi、ペイゲート等の業務店関連商材および、少額短期保険の販売を強化。店舗のIoT市場の開拓を積極的に進めており、今迄の“音楽配信のUSEN”から“店舗総合支援サービスのUSEN”へのブランドチェンジを推進。

ブロードバンド回線の販売代理は、小規模事業者向けを中心とした新規獲得活動が引き続き堅調に推移。また、オフィスのICT環境構築における、ネットワーク関連サービスやクラウドサービスの販売も強化。

当該事業の市場環境は、金融緩和による資金需給の改善等に引き続き設備投資需要は増加傾向。また、訪日外国人への対応や人手不足の補完、慢性的な宿泊施設不足解消のための管理システムの提供を開始し、市場ニーズへ対応。

市場が活性化する中、引き続きユーザーエクスペリエンスの改良、コンテンツの拡充、マーケットの開拓を進め、順調に契約者数を伸長。また、音声リモコンや4K作品に対応した新セットトップボックス（STB）「U-NEXT TV」の販売を開始し、TVでの視聴を推進。

業務店の店舗や建物並びに商業施設向けに高圧および低圧電力を中心に販売強化。将来の主力事業として成長させるべく、積極的な投資並びに営業活動を推進。2018年10月から新たに都市ガスである「USEN GAS」の販売を開始し、エネルギー事業への取組みを更に加速。

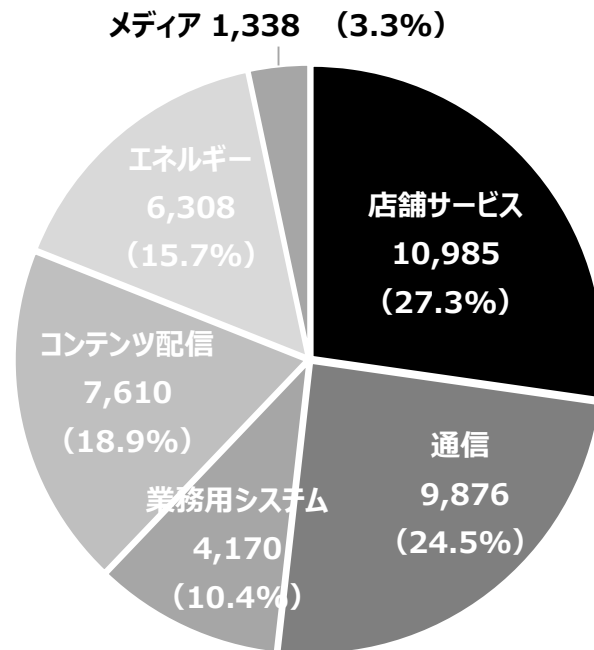
飲食店向け集客支援サービス「ヒトサラ」、ウェディングメディア「ウエコレ」やスタイリスト探しのWEBマガジン「bangs」など、当社の基盤となる顧客にマッチしたサービスの提供・運営が順調に推移。

各セグメントに配分していない全社費用は含まれておりません。

- ・ **店舗サービス、業務用システムは安定した売上、利益を創出するも店舗サービスでは将来収益創出のため販管費が増加**
- ・ **成長事業であるコンテンツ配信・エネルギー事業は会員獲得が伸長し販売関連費用が膨らむものの、売り上げでは前年同期比大幅増**

売上及び営業利益のセグメント構成比

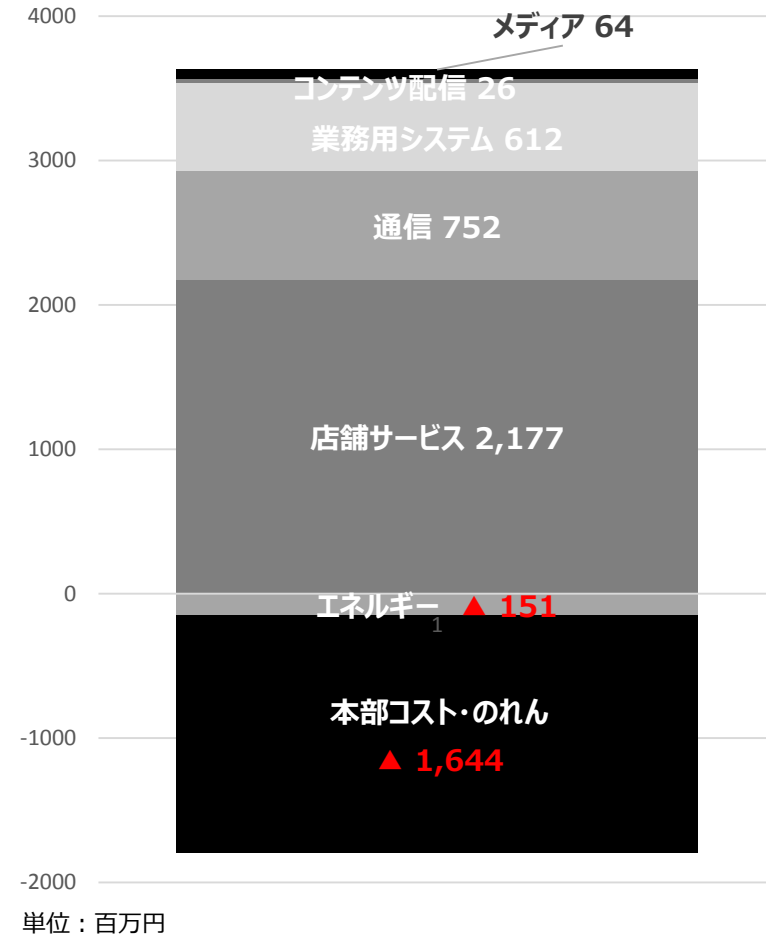
■ 売上



単位：百万円

■売上高の構成でコンテンツ事業・エネルギー事業が前期末より3ポイント以上上昇。それに伴い店舗サービス事業・通信事業合わせて前期末から3.7ポイントマイナス。

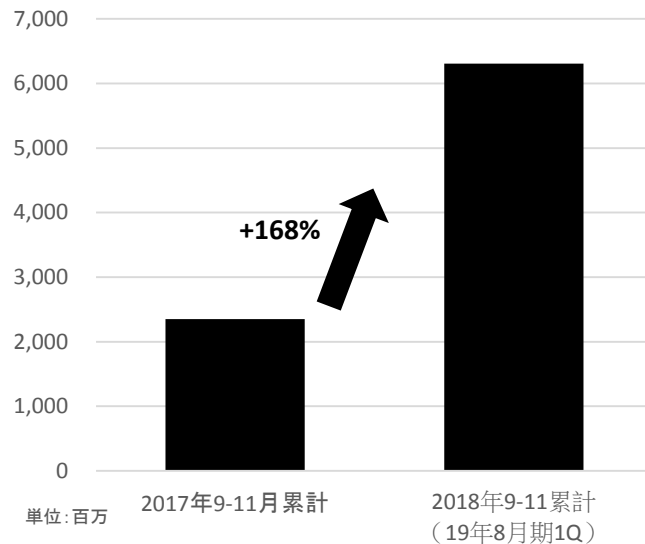
■ 営業利益



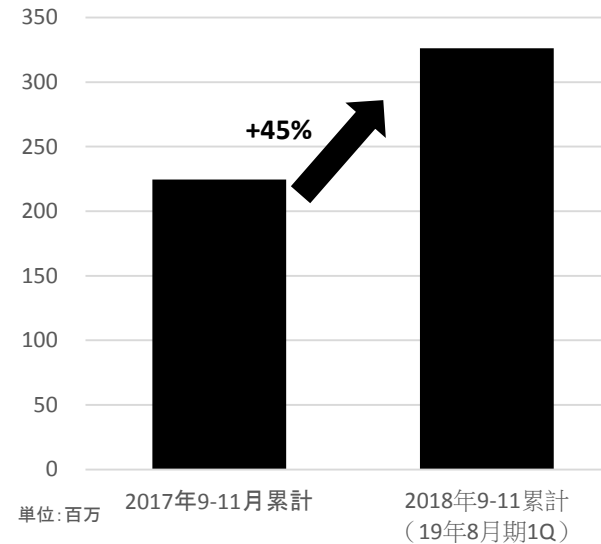
■営業利益の構成は上記のとおりであり、差はあるもののエネルギー事業以外は利益を創出している。またエネルギー事業の赤字幅についても順調に減少している。

成長事業商材の売上昨年対比

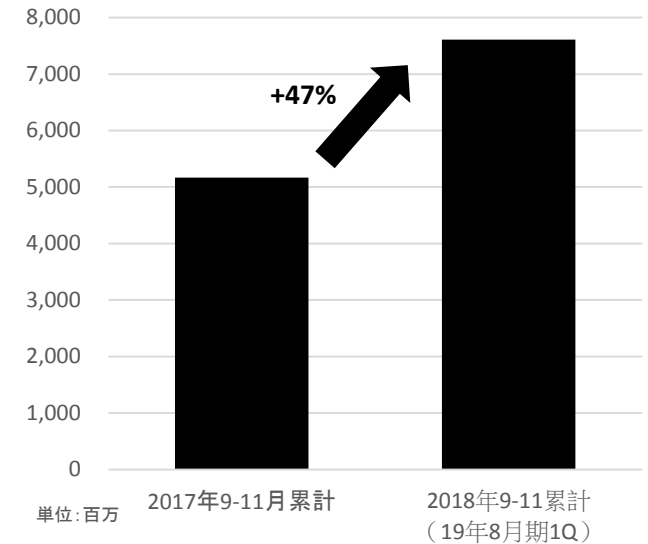
■ USENでんき



■ USEN Register



■ U-NEXT



- ・ 「USENでんき」は約2.6倍の売上成長
- ・ 店舗向けIoT事業商材「USEN Register」は約1.5倍の増収
- ・ コンテンツ配信事業商材「U-NEXT」は約1.5倍の増収

連結貸借対照表

(単位：百万円)	2018年8月 期末	2019年8月期 第1四半期	差分
(資産の部)			
流動資産	37,348	39,944	+2,596
現金及び預金	13,708	15,393	+1,684
受取手形及び売掛金	17,315	16,535	△779
たな卸資産	3,520	4,412	+892
その他	4,730	4,780	+49
貸倒引当金	△1,927	△1,177	+749
固定資産	88,588	95,366	+6,778
有形固定資産	19,689	20,731	+1,042
無形固定資産	51,574	60,571	+8,996
のれん	47,905	56,784	+8,878
その他	3,669	3,787	+118
投資その他の資産	17,324	14,063	△3,260
その他	22,102	18,846	△3,255
貸倒引当金	△4,778	△4,782	△4
資産合計	125,936	135,311	+9,374

(単位：百万円)	2018年8月 期末	2019年8月期 第1四半期	差分
(負債の部)			
流動負債	35,866	40,788	+4,921
支払手形及び買掛金	14,067	16,501	+2,433
短期借入金	2,500	2,500	-
1年以内返済予定の長期借入金	4,906	4,904	△1
その他の引当金	836	214	△621
その他	13,556	16,667	+3,111
固定負債	75,065	78,825	+3,759
長期借入金	71,534	70,179	△1,355
退職給付に係る負債	2,699	3,293	+593
その他の引当金	241	365	+123
その他	588	4,986	+4,397
負債合計	110,931	119,613	+8,681
(純資産の部)			
株主資本	14,819	15,495	+675
資本金	94	94	-
資本剰余金	11,089	11,089	-
利益剰余金	3,635	4,310	+675
その他包括利益累計額	139	156	+16
その他有価証券評価差額金	152	155	+3
退職給付に係る調整累計額	△13	0	+13
非支配株主持分	45	46	+1
純資産合計	15,004	15,697	+693
負債純資産合計	125,936	135,311	+9,374

- ・ 経営統合に伴うのれんと借入は予定通り減少
- ・ キャンシステム社の100%子会社化に伴うのれんを新たに計上
- ・ 自己資本比率11.5%

※キャンシステム社 みなし取得日11月末としBSのみ連結

目次

1. 2018年8月期 決算について

2. **2019年8月期 業績予想進捗について**

3. 2018年8月期 TOPICS

4. USEN-NEXT GROUPの取り組みについて

2019年8月期業績予想進捗

(単位：百万円)	2019年8月期 業績予想	2019年8月期 第1四半期	進捗率
売上高	170,000	39,757	23.4%
営業利益	8,000	1,836	23.0%
営業利益率(%)	4.7%	4.6%	-
経常利益	6,500	1,545	23.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,000	674	22.5%
1株当たり連結当期純利益 (円)	49.95	11.23	-
EBITDA	17,000	-	-
EBITDAマージン	10.0%	-	-
EBITDA-CAPEX (投融資含む)	10,000	-	-

通信サービスの事業モデルの転換、および店舗サービス事業の販促費先行投入により営業利益は前期実力値より減少するものの、おおよそ3年以内での回復プラス超過収益の創出を図る計画。

目次

1. 2018年8月期 決算について

2. 2019年8月期 業績予想進捗について

3. **2018年8月期 TOPICS**

4. USEN-NEXT GROUPの取り組みについて

USEN、ガス小売り参入 全国の営業拠点を活かす

2018年10月1日「日本経済新聞 電子版」

「USENガス」スタート--USENが電気に続き都市ガスサービスの取次販売

2018年10月3日「CNET Japan」

開業支援も電力提供も USEN、「音楽配信の先」描く

2018年9月3日「日本経済新聞 電子版」

店舗総合支援へと動き出したUSEN、田村社長の考える魅力的な飲食店とは？

2018年4月22日「ニコニコニュース」

USEN GAS

<サービスリリース>

USENが、東京電力エナジーパートナーが提供する都市ガスサービスの取次販売を開始いたしました。「店舗支援総合サービス」の1つとして、電力サービス『USENでんき』の提供を開始しておりますが、順調に契約数を伸ばしています。電気を中心とした営業からガスを追加し、エネルギー事業への取り組みを更に加速します。



<店舗向け総合支援>

近年、「音楽配信事業」に加えて、店舗のコンセプト設計から資金調達、物件・立地選定・集客・販売促進など、店舗経営を支援する「店舗総合支援サービス」を提供しています。USENは音楽配信のUSENから、“店舗総合支援サービス”のUSENへブランドチェンジを推進していきます。

アルメックスとエクスペディアグループが提携 国内6,500軒以上のレジャーホテル取り扱い

2018年10月16日「トラベルメディア Traicy」



USENHHD系、エクスペディアと提携

2018年10月16日「日本経済新聞 電子版」

<企業間業務提携>

アルメックスとエクスペディア・グループが戦略的提携契約を締結しました。アルメックスが運営するレジャーホテル予約サイト「LoveinnJapan」に掲載する、日本国内6,500軒以上のレジャーホテルを、エクスペディアグループの旅行予約サイトで予約できるようにします。

デニムを取り入れた客室がオシャレ！銀座に「ザ・スクエアホテル」がオープン

2018年11月9日「ニュースウォーカー」



ザ・スクエアホテル銀座

<新機種導入>

ソラーレ ホテルズ アンド リゾーツ社より新たにオープンした「ザ・スクエアホテル銀座/金沢」へコンセプトにあったセルフチェックインシステム導入のリクエストがあり、非金銭デバイスチェックインシステムと自動精算機TEX-01Kの導入が決定しました。

昨年夏秋とスマートで柔軟性の高いセルフサービスKIOSK「TEX-2850」「TEX-01K」をリリースし、様々な手続きをさらに簡素化することが可能になりました。



自動精算機「TEX-01K」

**U-NEXTで20世紀フォックスの名画・ドラマ
290作品が見放題**

2018年11月5日「AV Watch」

**20世紀フォックスの名作映画から人気の海外ド
ラマまで、290作品1,800エピソード以上を見放
題で順次配信開始！**

2018年6月4日「ニコニコニュース」



© 2006 Twentieth Century Fox Film Corporation.
© 2009 Twentieth Century Fox Film Corporation. All rights reserved.
© 2001 Twentieth Century Fox Film Corporation. All rights reserved.
© 2005-2006 Twentieth Century Fox Film Corporation. All rights reserved.

＜コンテンツ強化＞

U-NEXTで20世紀フォックスの人気映画と海外ドラマあわせて290作品1,800エピソード以上を見放題作品として、順次配信開始します。

**井浦新主演「BRIDGE はじまりは1995.1.17
神戸」追加出演者とプロローグドラマ情報解禁**

2018年11月24日「@niftyニュース」

**井浦新主演ドラマ「BRIDGE」追加共演者&葵
わかなのプロローグドラマ配信を発表**

2018年11月24日「NewsWalker」



© カンテレ

＜独占配信開始＞

U-NEXTが、関西テレビが制作する『カンテレ開局60周年特別ドラマ BRIDGE はじまりは1995.1.17神戸』を、コンテンツパートナーとして協業し、ドラマ連動コンテンツを制作・配信いたします。『BRIDGE』の「プロローグドラマ」「BRIDGE ディレクターズカット版」「メイキングドキュメンタリー」を独占配信いたします。

目次

1.

2018年8月期 決算について

2.

2019年8月期 業績予想進捗について

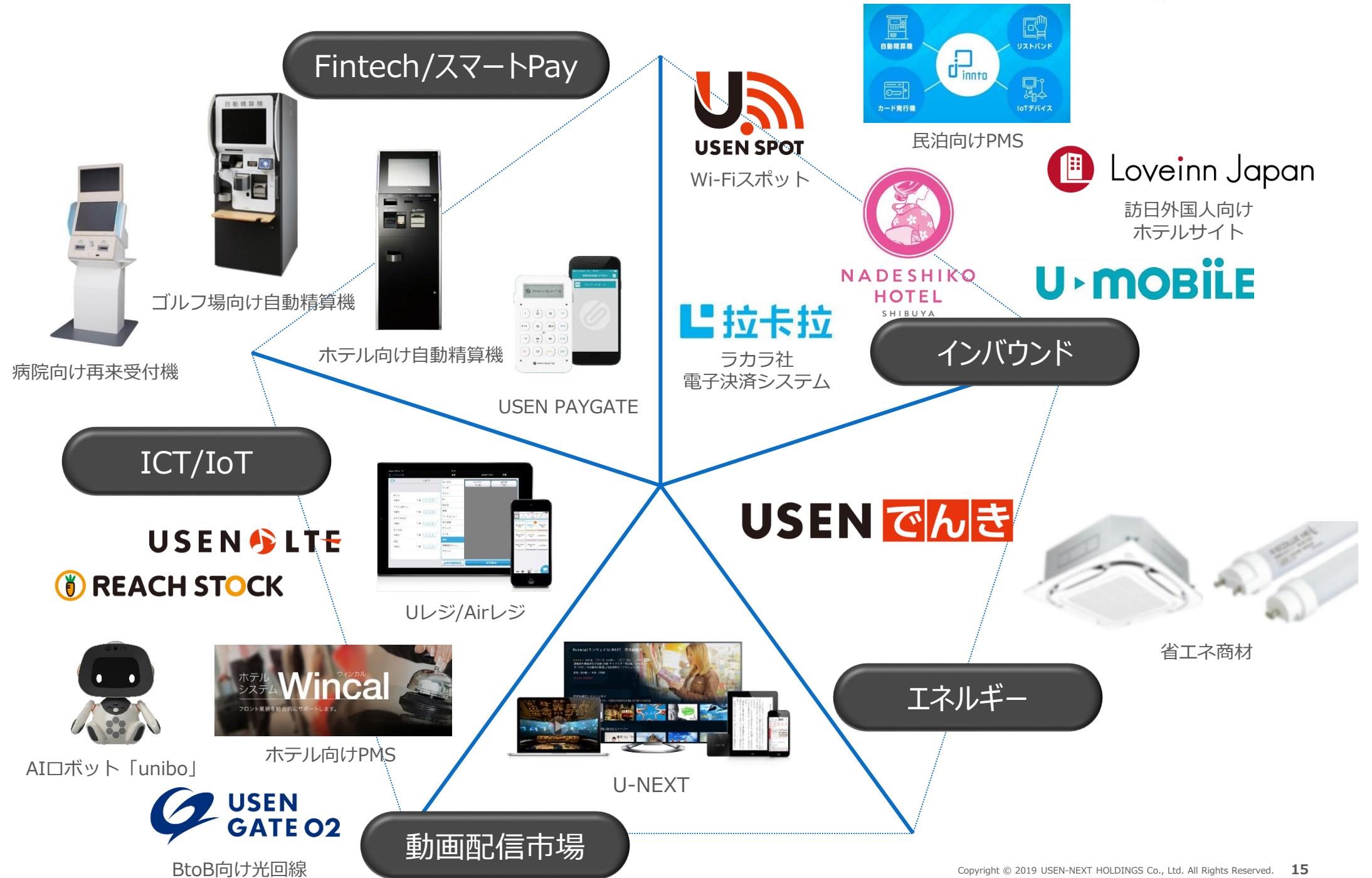
3.

2018年8月期 TOPICS

4.

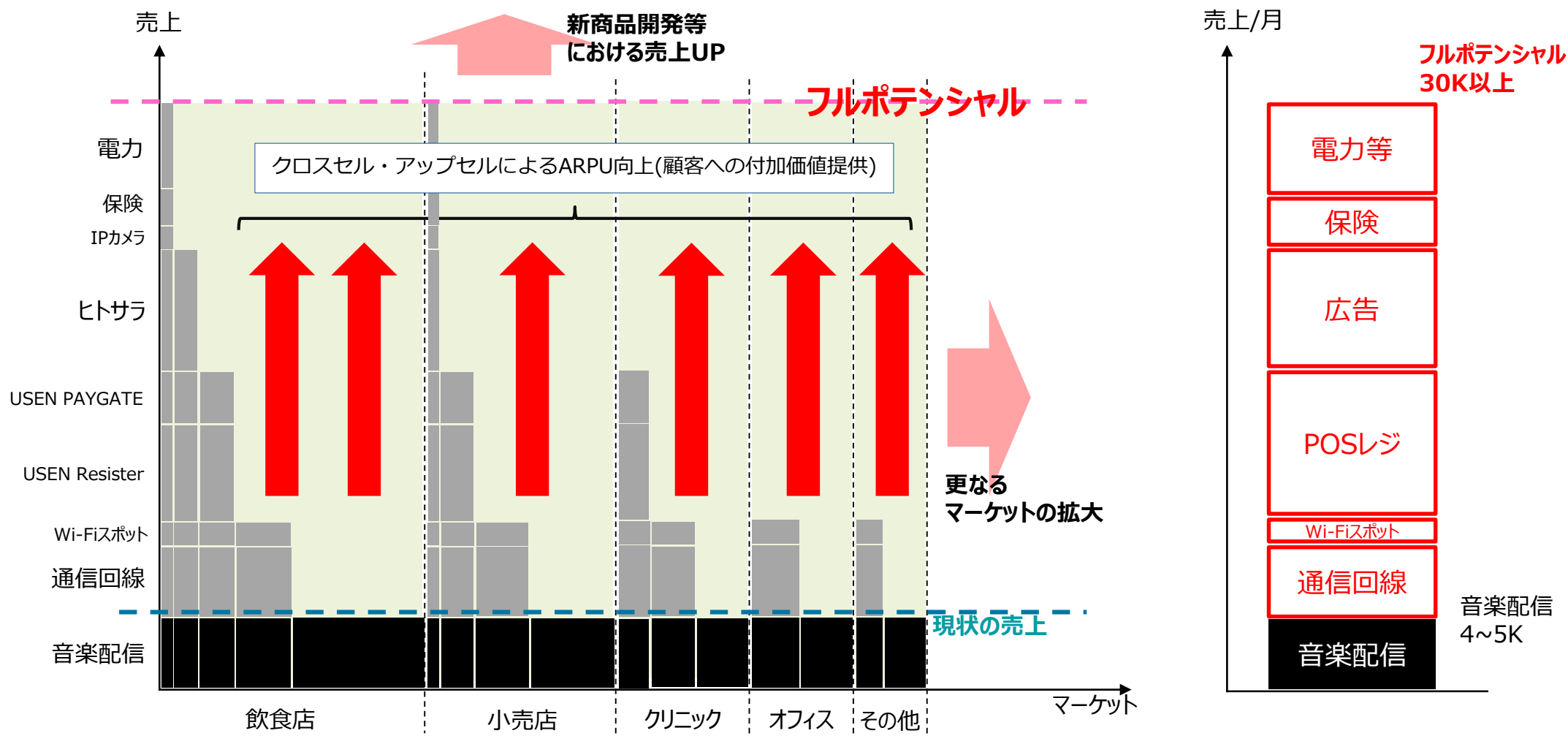
USEN-NEXT GROUPの取り組みについて

市場成長に伴うグループの取り組みについて (再掲)



グループ顧客資産の有効活用 (再掲)

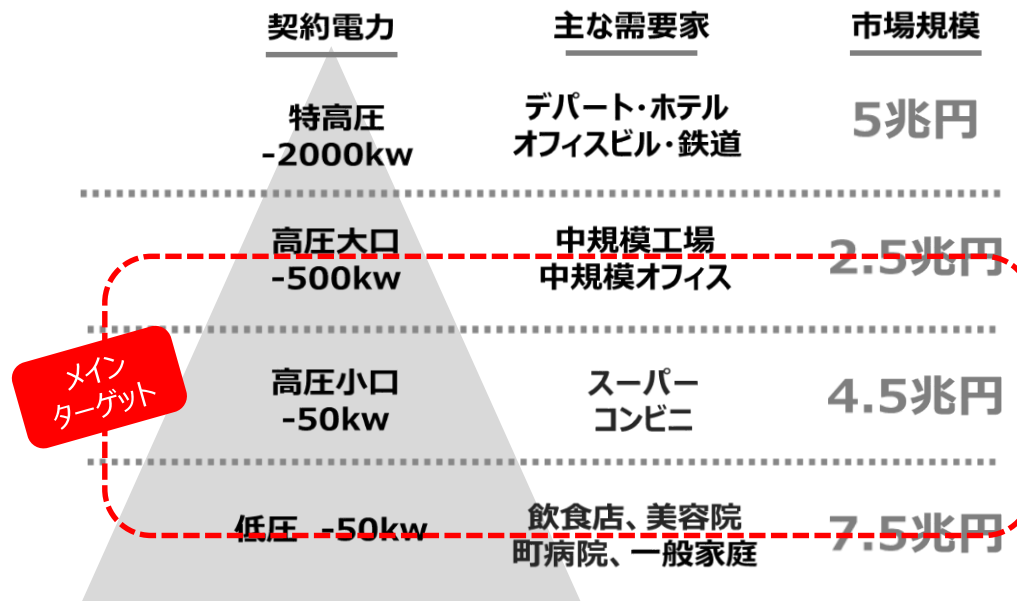
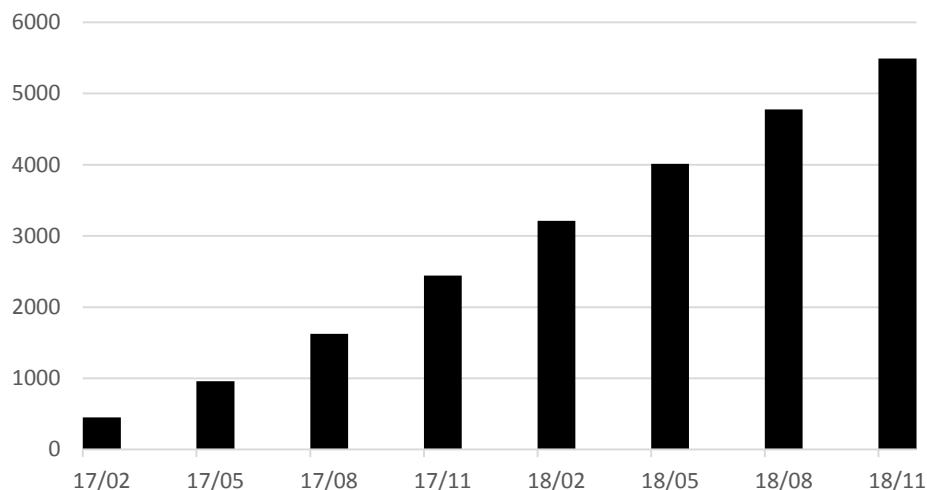
直販 + テレマ + 代理店 + Web・その他



現状、業務店向け売上の過半を音楽配信が占めています。グループ顧客資産・情報を有効活用し、従来の直販体制に加え、テレマや代理店等のマーケティングチャネルも積極活用し、通信回線や店舗向けソリューションの販売を強化、ARPUの向上を図っていきます。

電力事業の早期収益化

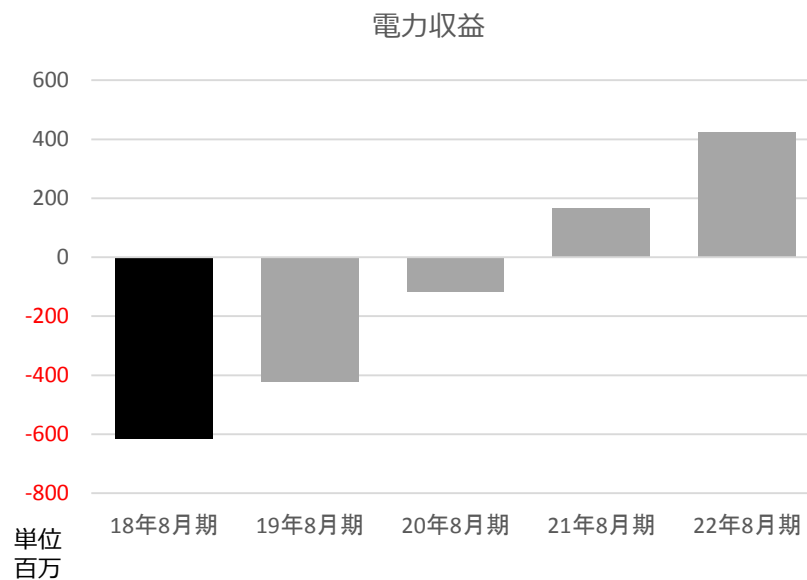
■「USENでんき」契約者数推移（高圧）



2016年9月の立上げより「USENでんき」は順調に契約者数を伸長。

「USENでんき」を、グループ商材のクロスセルに向けたフック商材として位置付け。

18年→22年
高圧累計加入件数 約3倍超
5,000件 → 17,000件

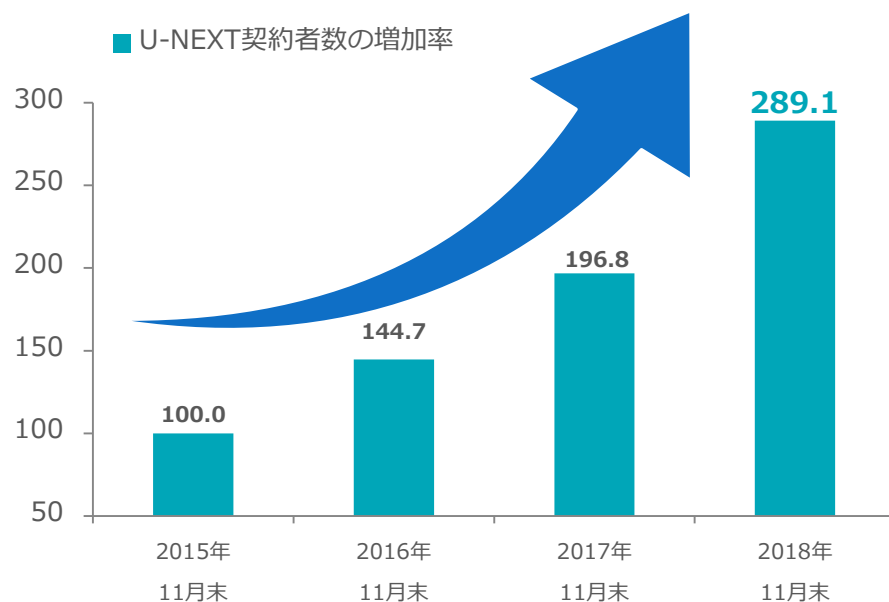


映像配信事業の会員数動向

映像配信サービス「U-NEXT」では会員獲得が順調に推移しており
 ここ半年間で約20万ユーザーが純増

「U-NEXT」契約者数の増加率

(単位：%)

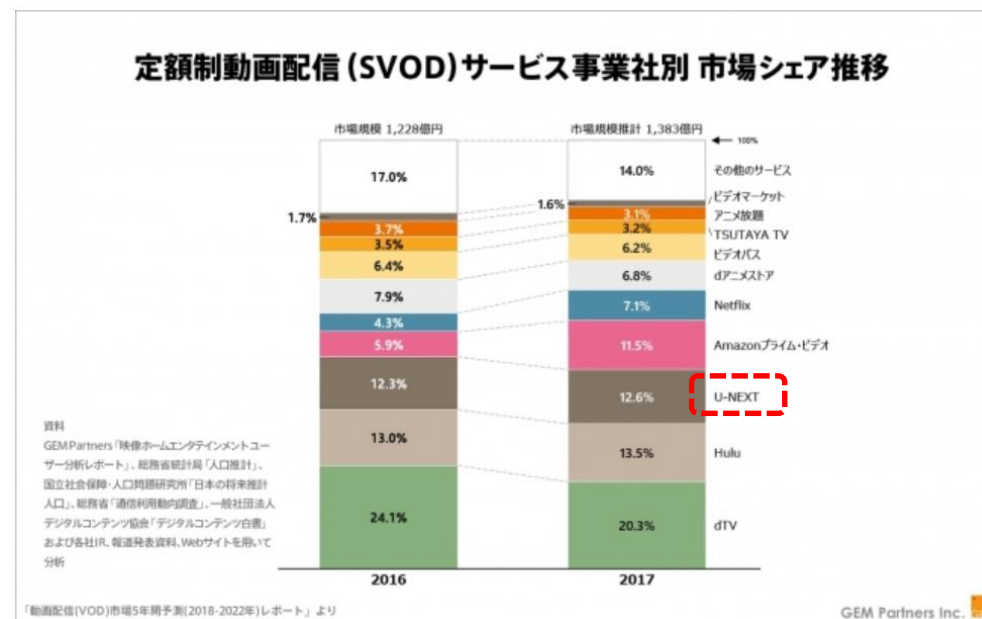


※2015年8月末を100%として算出しております。

「U-NEXT」契約者数 3年間で**2.8**倍
 昨年同期比でも**47%**増

定額配信サービスシェア

定額制動画配信 (SVOD) サービス事業社別 市場シェア推移



動画配信サービス利用者数が1年で24%増の1,440万人に。2020年までに2,000万人に。(※)
 U-NEXTシェアで**3**位

(※) : ICT総研調べ
 図引用：定額制動画配信 (SVOD) サービス事業社別 市場シェア推移
 <動画配信 (VOD) 市場規模の予測> 2022年の動画配信市場は2017年比1.4倍、定額制動画配信 (SVOD) サービスが市場の約8割を占めると予想
 URL: <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000023.000013190.html>

■ キャンシステム株式会社の100%子会社化

平成30年9月10日開催の取締役会において、キャンシステム株式会社の株式を取得し、子会社化することについて決議致しましたが、平成30年10月1日に株式譲渡を実行し、子会社化が完了いたしました。

● キャンシステム株式会社の直近事業年度の財務状況及び経営成績

決算期	平成28年2月期	平成29年2月期	平成30年2月期
純資産	1,603	1,144	1,168
総資産	6,651	6,107	6,016
売上高	5,515	5,259	5,188
営業利益	277	229	400
経常利益	200	210	381

● B/S連結は第1四半期から、P/Lは第2四半期から取込

将来見通しに対する注記事項

本資料に記載されている意見や予測などは、資料作成時点での当社の判断であり、リスクや不確実性を含んでいるため、その情報の正確性、完全性を保証または約束するものではありません。